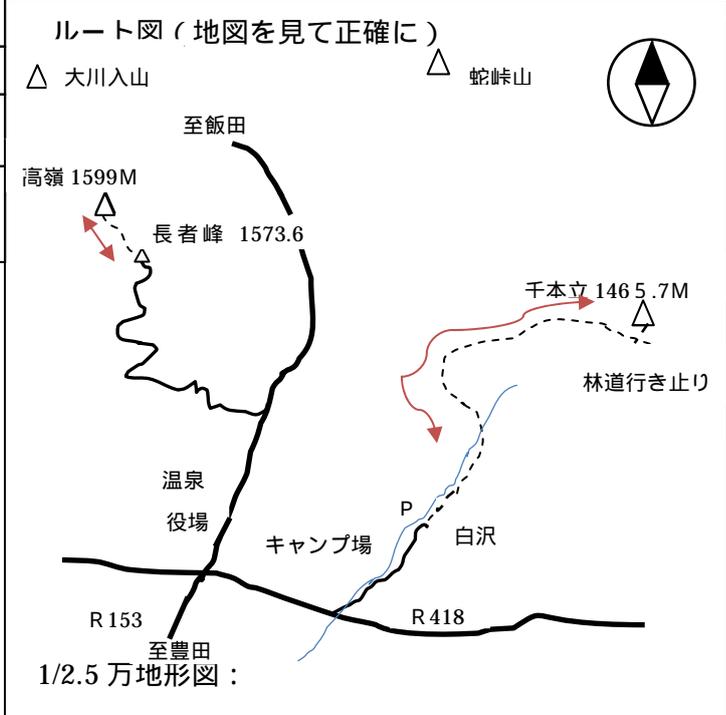


4 月度 例会 山行報告書		報告者	佐溝直彦	参加 メンバー	CL 塚本英吾・S L 青山武 渡辺勝利 三ツ矢十三世 佐溝直彦
個人		報告日	04 / 24		
山 域	三河高原	山行日	2011/年 4 月 21 日 (木)		
山 名	千本立				

山行目的 眺望を楽しむ。前回(1月)のリベンジ。 コースタイム(天候:天気図記号)

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



天候: 晴れ・微風・スタート時気温 8。

千本立登山
刈谷発 5:30 ~ R153 ~ R418 ~ ネスティピキャンプ場上の広場 7:40 着 8:00 登山スタート ~ 1本 8:45 ~ 頂上 9:50 - 10:50 ~ キャンプ場上の広場 12:08 下山。

平谷の山の調査
平谷村役場で平谷村の山資料(大川入山・高嶺・千本立の展望図)入手・役場では希望者に配布しています。役場で東日本大震災救援募金に参加。

入手した「高嶺(1599M)」の下見をする為車で登る。役場~長者峰(山頂の手前・展望台や駐車場有)まで車で20分・更に遊歩道で高峰頂上まで1.1K20分位・眺望は大変良い
長者峰展望台では入手した展望図を参考にして山座同定した。尚展望台や管理棟・外灯の管理は良くない。
ひまわりの湯で入浴後 16:00 発~刈谷 18:40 帰着。

山行報告 年金基金会館Pで塚本車に追参加1名加入4名乗車・豊田市で渡辺さんをピックアップし満車5名で平谷に向かう、稲武付近までは木々の新緑や桜などの彩りが目を楽しませてくれたが平谷のR418まで来ると春浅い感じとなる、キャンプ場の看板で左折し白沢林道に入って行く、キャンプ場を左に見て更に進んだが路面が荒れており広場に駐車。準備運動後鳥の鳴き声を聴きながらのんびりと林道歩き、林道は広くしっかりしているが法面は山砂が崩れそうで痛々しい。足元のフキノトウを見つけ早速三ツ矢さんがゲットしている。45分歩き一本(1月来た時は深雪のラッセルで今日駐車場の広場から140分費やしてここで引き返している)やがて尾根歩きとなり傾斜も緩やかになり前方に千本立のピークを確認、落葉松の樹林帯を抜け出ると三河高原の山々が見えるようになる。独標を巻き・林道からピークへの取付き点を探しながら行く
と林道が行き止まり、少し戻り密生した笹の中にかすかな赤布を発見・ピークめざし笹をかき分け足をとられながら15分の悪戦苦闘で三角点のある頂上へ。ピークに立つと北や東方向が一気に開け正に360度の眺望。北北東目前には蛇峠山・北北西には端正な姿の大川入山・南には茶白山・蛇峠山の右側には南アの白く輝く山並みを眺め、皆であれこれ山座同定、時間を忘れ存分に頂上を楽しんだ。尚林道から笹に覆われた千本立ピークへのアプローチは西側の他に北側にも印がありこちらの方が笹が少なく攻めやすいと思う・地上30CMで刈り込まれた笹の根は尖っており転倒によるケガなどが予想され慎重な行動が必要と感じた。千本立は林道が王道で足に優しい・緩やか・道迷いは無いので中高年者向き(但し山頂部のみ要注

意)、落葉松の新緑や紅葉の時期にお勧め、積雪期初心者のスノーシューのトレーニングにも適していると感じた。
下調べした「高嶺・たかね」について: 山頂手前の長者峰(展望台・駐車場有)は南ア展望などで千本立の眺望より優れている。星空観賞や豊田の夜景もお勧めとの事(役場職員談)。尚車道は1車線の舗装路、登山道は役場付近の登山口から頂上まで3.2K(急登の様子)往復5時間である。



確認
(リーダー)
塚
4/24
本
作成
(報告者)
佐
4/24
溝

リーダー所見 1月のスノーシュー登山は時間切れで引き返していたので今回再挑戦し楽しくリベンジ出来たのが良かった、林道歩きの登山でやや物足りなさがあったかもしれないが快晴のもと三河高原や南アの眺望は十分堪能できたので満足の山行と評価したい。平谷村の山資料入手と「高嶺」の下見という+の成果を今後の山行計画で活かしたい。

